

日仏フォーラム「書籍とデジタル」

Forum franco-japonais « Livre et numérique »

国立国会図書館では、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本との共催により、日仏両国におけるデジタル時代の出版をめぐる状況や図書館の役割の在り方に関するフォーラムを開催します。

養老孟司氏、作家の平野啓一郎氏ら日仏の作家、出版関係者及び図書館関係者らが、デジタル時代における書籍と読者との関係性、電子書籍の保存と長期アクセス保証の社会的意義、電子書籍の流通による出版界と図書館の役割の変化などについて議論します。

■日時

平成28年6月13日（月）9時45分から18時30分（開場：9時15分）

■会場

国立国会図書館東京本館 新館講堂（千代田区永田町1-10-1）

■共催

在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

■後援

一般社団法人日本書籍出版協会

■協力

国際フランス出版事務局（BIEF）

■プログラム ※日仏同時通訳付

【基調講演】「本、今日とこれまで」養老孟司氏（東京大学名誉教授）

【第1セッション】デジタル時代の創作と読書：本の新しい形と新たな読書の形態とは？

司会：林智彦氏（朝日新聞社デジタル本部）

パネリスト：

ティエリー・バッチノ氏（パリ第8大学教授）

ジュリー・ステファン・チェン氏（2016年ヴィラ九条山招聘アーティスト）

藤井太洋氏（日本SF作家クラブ会長）

平野啓一郎氏（小説家）

井芹昌信氏（株式会社インプレス R&D 社長）

【第2セッション】電子書籍と図書館の役割：長期アクセス保証と納本制度

司会：植村八潮氏（専修大学文学部教授）

パネリスト：

大曲薫（国立国会図書館収集書誌部長）

田村俊作氏（慶應義塾大学名誉教授）

田中敏隆氏（株式会社小学館デジタル事業局ゼネラルマネージャー）

ブノワ・チュルウ氏（フランス国立図書館サービス・ネットワーク部納本課長）

エリック・ヴィーニュ氏（ガリマール社）

【第3セッション】電子書籍の経済

司会：中野稔氏（日本経済新聞社文化部編集委員）

パネリスト：

ジャン＝ギー・ブアン氏（国際フランス出版事務局(BIEF)長）

リュック・ブルシエ氏（IZNEO 社社長）

角川歴彦氏（株式会社 KADOKAWA 取締役会長）

新名新氏（株式会社出版デジタル機構代表取締役社長）

相賀昌宏氏（日本書籍出版協会理事長）

■参加費

無料

■イベント詳細、申込み方法

詳細については、アンスティチュ・フランセ日本ホームページ掲載のフォーラム案内をご覧ください。

同ページの参加申込みフォームからお申込みください。

アンスティチュ・フランセ日本ホームページ

<http://www.institutfrancais.jp/book/>

■申込み締切

2016年6月8日（月）12時（先着順で定員250名となり次第、受付を終了します。）